

公益社団法人米沢有為会
興讓館寄宿舍OB会
通信 第6号(2019.10)

編集・発行

公益社団法人米沢有為会興讓館寄宿舍OB会
〒182-0004 東京都調布市入間町 1-36
東京興讓館内
連絡先 nkkanno53@gmail.com

会員名に続く()内は、寄宿舍名と入舎年

令和元年度総会

令和元年 11月9日(土)

14時から、四谷にて開催
寄宿舍OB多数のご参加を!

日ごろ興讓館寄宿舍OB会の運営にご協力いただきまして感謝申し上げます。

令和元年度の寄宿舍OB会総会を11月9日(土)、東京四谷・主婦会館プラザエフで開催いたします。ご多忙とは存じますが、万障繰り合わせの上ご出席くださいますようお願いしております。

興讓館寄宿舍OB会は平成元年(1989年)9月、米沢有為会創立100周年の機会に発足し、今年で創立30周年になります。学生時代に一つの釜の飯を共にして寄宿舍で青春を過ごしてから幾星霜。お互いの親睦を図りたく開催いたします。

幹事長 菅野 憲幸 (東42)

次年度活動計画(案) [抜粋] 11月9日総会で審議

- ・寄宿舍OB会をより進化発展させる活動(特に1980～90年代入寮の若い寄宿舍OBとの交流拡大ほか)
- ・米沢有為会創立130周年事業等の協働支援(会員勧誘・協賛金募集への協力、情報の提供ほか)
- ・現役寮生へのサポート対応(若いOBから就職相談・アドバイスほか)

(令和元年8月25日 寄宿舍OB役員会案)

米沢有為会の動き

—創立130周年—

創立130周年の節目の1年、米沢有為会では、理事会が会員意見を聴取しながらまとめた「創立130周年活動ビジョン」に基づき、さまざまな取組が実施されています。寄宿舍OB会員各位に一層のご理解とご支援を賜りたく、概要をご報告いたします。

定期総会・創立130周年記念行事

令和元年6月22日(土)、東京第一ホテル米沢で、まず定時総会を開催、続いて産業やスポーツ・文化活動等で貢献した個人・団体の表彰後、創立130周年記念行事に移り、まず記念式典を挙行、会長の式辞、中川勝米沢市長の来賓祝辞、柴山昌彦文部科学大臣及び吉村美栄子山形県知事の祝辞のほか祝電の披露がありました。続く記念講演会では有限責任監査法人トーマツのマネージャー対木さおり氏の「日本の中長期的な課題と置賜地区の将来」と題する講演があって、夕刻から祝賀懇親会が開催されました。参加80名。

一方、記念行事の一環として、6月1日(土)、仙台ビジネスホテルで、仙台支部総会、大滝則忠会長による講演「米沢有為会の縁」の後、場を変えて祝賀懇親会が行われました。参加25名。また、6月2日(日)、主婦会館プラザエフで、東京支部総会、上杉邦憲名誉会長による講演「上杉茂憲公の沖縄県令時代」の後、祝賀懇親会が行われました。参加50名。

以上の一連の記念行事には、参加者側や主催者側で、多くの寄宿舍OB会員が参画されました。

「有為会130年の歩み」展

市立米沢図書館との共催で、5月24日(金)から6月26日(水)まで、文化複合施設「ナセBA」内の同図書館先人顕彰コーナーを会場に、明治以来の歩みをたどる展示会が開催され、多くの観覧者で賑わいました。写真を含むパネル展示が中心でしたが、寄宿舍OB会員の協力で、かつての寮誌、仙台の『みすかんとす』、東京の『零標』、さらには『札幌興讓館60年史』と『興讓館寄宿舍戦後70年の歩み』や『あづま』(置賜在京

興讓館寄宿舍OB会総会

11月9日(土) 14時～16時30分

会場：主婦会館 プラザエフ

- ★ご参加をお待ちしております。
- ★返信ハガキに、**近況**をお書きください。
- ★お差し支えなければ、当『通信』誌上でご紹介させていただきます(次号は来春1月刊)。

興讓館寮(東京・仙台)

令和2年4月入寮 寮生を募集中

お知り合い方をお誘いください。
個室、朝夕2食付

東京興讓館 寮費(月額) 48,000円
募集人員 8名程度(男子のみ)

仙台興讓館 寮費(月額) 42,000円～
募集人員 5名程度(男子のみ)

2019年度の入寮者は東京・仙台共にゼロ

奨学生 も募集中! 詳細はHPで

寄宿舎OBの皆様へのお願い

入寮生の勧誘! お口添えを!

今春2019年4月、東京と仙台の両興讓館寮は共に新入寮者ゼロ、まさに衝撃的な事態を迎えました。

平成20年代に入って、入寮生は減少傾向となり、米沢有為会では、平成24年に「舎生募集プロジェクト」をスタートして、①学生寮紹介パンフレットを各高校・保護者へ配布、②舎生OBが各高校に出向いて説明会の実施、③面接会場を米沢市に一本化、④勧誘用ホームページの充実、⑤面接日の早期化などに取り組んできました。そして、本年度の新入寮生ゼロの新たな事態に、様々な対策に取り組んでいますが、舎生OBの皆様にもよろしくご支援をお願い申し上げる次第です。

現役入寮生への面接とアンケート調査によると、ほとんどの新入寮生が保護者の勧めで入寮しています。そこで、舎生OBの皆様のお口添え、身近な方に対する「息子さんを寮に」との働きかけを是非お願いいたします。育英事業の根幹である学生寮の存続発展のためにお力添えいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

学生会々誌)の現物も展示され、関心を集めました。この展示会の内容は、米沢有為会HP上の電子展示会に近く掲載準備中です。

会員勧誘の活動

本年度、令和2年3月末までを活動期間として、会員勧誘の活動に取り組んでいます。特に高齢化等で会員減少の傾向があり、青壮年を中心に、より多くの方々の入会をご紹介いただくようお願いいたします。

仙台興讓館寮の改修工事第1陣が終了

創立130周年記念事業の学生寮の大型改修工事のうち、第1陣の仙台寮の分が工事費400万円で終了しました。夏場の居室内の高温化を和らげる窓への内窓設置、カーテンの装備、照明LED化、建屋屋根防水補修等が施工されました。

東京興讓館寮の改修工事の準備

学生寮の大型改修工事の第2陣として、東京寮の居室の大改修工事を準備中です。既に工事業者と仕様を打ち合わせて見積を得ていますが、東京オリンピック工事の影響で資材と人手の不足する時期を避けて、来2020年夏の施工を計画し、現在、寮生と最終仕様の確認等を協議しながら、準備しています。

学生寮基本問題検討委員会

去る8月理事会で標記委員会(委員長:平山英三副会長)の活動がスタートしました。育英事業の基本である学生寮の経営に関し、米沢有為会として諸課題を首都圏の学生寮の実例調査も含めて検討に着手しています。入寮者の確保策をはじめとする現下の諸問題、さらに今後の東京寮に女子受け入れる課題等への対応等を、基本に立ち返って検討して、理事会に対し提言することをミッションにしています。

置賜若人の夢を育む地域振興事業

昨年に引き続き、第2回置賜地区高校生小論文コンテスト(10月26日米沢で表彰式)を実施し、新たに創立130周年記念事業として、新春1月11日に若人フォーラムを米沢で開催する準備を進めています。

寄宿舎OBの2人が新理事に就任

定時総会で行われた本部理事・監事の選任で、新しい理事に寄宿舎OBの武田篤さん(東43)と菊地隆雄さん(東46)が就任しました。任期は3年6月まで。今回、佐藤憲一さん(東44)は理事を退任しました。

本部事務局業務の新体制

事務局業務は従来に比べて多岐広範にわたり、かつスピード感ある連絡体制や業務処理が求められます。このたび、東京興讓館長の川合勝雄理事(東41)が兼務していた従来の体制から、新たに事務局担当参事として田中勝さんが着任されました(当面の原則、毎週火・金曜日/月8日勤務)。この新体制により、これまでご苦勞いただいた川合さんは、東京興讓館長(兼東京支部副支部長)に専念いただくようになりました。

米沢有為会 創立130周年記念事業 協賛金募集
応募受付 令和2年3月末まで 継続中

これからの皆様には、よろしくお願い申し上げます。

日々随感

帰去来 (まほろぼの学び舎)

菅野 憲幸 (東 42)

「ひろすけ」生誕の地、高島町屋代。水田はもちろん、果物豊富な豊かな郷土。屋代小学校の校舎は木造2階建て。一直線に伸びた100m校舎。雨の日は、グラウンド代わりに一直線に伸びた廊下を走り怒られた。直線の中ほどに図書室があった。その中に「ひろすけ文庫」があり、『泣いた赤鬼』『竜の目の涙』『ムクドリの夢』等たくさん並んでおり、腕白盛りの子供達はむさぼり読んでいた。山大教育学部を卒業したばかりの若い担任の先生に感想文を書かせられた。コンクールではないから順位とか賞とかは無い。広い校庭の向こうに、芝生の広場があり木に囲まれて二宮金次郎の像があった。その周りに子供達が座り、一人一人感想文を読み、感じたことを言いあった。子供にとっては型にはまらない自由で楽しい時間だった。

警備保障会社など当然ない時代、学校の宿直は男の先生方が交代で行っていた。新米教師独身の我が担任は週末土曜日に割り当てられる場合が多かった。自分を含め問題児3名が週末の宿直に誘われ泊まった(児童を宿直に同伴してよいのか僕らは知らない)。深夜、先生と共に懐中電灯を照らし校舎を巡回した。理科教室巡回の時には震えた。人体の模型、動物の剥製がライトに照らされた時の恐怖。若き教師は笑っていた。日曜の朝、宿直室の雑魚寝の布団をそのままにし、校庭で野球に熱中した。教室内で勉強を教えてください記憶はない。帰省する度にお会いする敬愛する若き恩師も、今は80代半ば、お元気でおられる。

福島との県境にあり置賜盆地が一望できる鳩峰高原の頂に『ムクドリの夢』の碑がある。屋代川の清流が流れる「まほろぼの里」わが故郷・高島を「ひろすけ童話」がやさしい眼差しで見守っている。

さあ 帰ろう！ 懐かしいあの場所へ。

仙台興讓館長も早8年

仙台興讓館長 滝口 政彦 (仙 41)

仙台興讓館長を大震災後の1年後に引き受けてから早8年が経ちます。寮母の小野寺さんも14年目にな

ります。「広瀬川流れる岸边 思い出は帰らず 早瀬踊る光に 揺れていた君の瞳・・・」とさとう宗幸が歌う「青葉城恋唄」が発表されたのは41年前の昭和53(1978)年です。広瀬川のほとりに立つ仙台興讓館寮はエアコンを設置していません。昨年の夏、寮生2人が猛暑で熱中症の症状になったという報告がありました。川風で冷房効果があるのではと思っていましたが、猛暑に対して何らかの対策をとっている話になっていました。本年130周年の記念事業で二重窓の設置、厚手のカーテンの完備がなされ、そのお蔭か、幸いにも今年の夏は熱中症の症状は誰もなく、その上、電気代も節約できました。世界的に「温室ガス効果」による気温上昇が大問題になっており、寮もこのままで済むのだろうかと思っています

平成20年より米沢有為会仙台支部では『仙台支部だより』を年に2回発行、私は編集を担当していますが、本年の5月号で通算21号となりました。「ページ建て」で余った余白に「寮の庭の植物」という題で植物の話題を紹介しています。館長の仕事は寮の環境整備と思い、庭の草刈りをやっていますが、暑い夏は大変です。数年前、甲支部長さんが草刈りをやっていたので、手伝わねばまずいと鎌で大量のビンボウカズラ(ヤブガラシ)を刈った所、茶色の液汁が高価な麻のシャツに付きダメにし、妻に怒られました。今年の春、狭い裏庭に砂利を敷き、草が出ないのかなと心配しましたが、下に防草シートを敷かなかったので相変わらずで安心？しました。

広瀬川の河岸にはヤナギの大木が茂り、今年の5月には初めてカジカガエルの「フィフィフィフィ・・・」という鳴き声を聞きました。作並温泉など上流域には生息していますが、街中の牛越橋で聞くと、都会を流れる清流の名にふさわしいと感激しました。寮の前の牛越橋下の河川敷は、仙台の芋煮会のメッカです。毎年10月初の土曜日に、米沢から材料を仕入れて、米沢風芋煮会を行っています。

東京興讓館寮の近況

東京興讓館長 川合 勝雄 (東 41)

今年度の当寮への入寮者が残念ながらゼロでした。金子芳雄館長のもとで副館長として寮運営のお手伝いをして以来25年にもなりますが初めての事です。その対策のために、寮基本問題検討委員会を立ち上げて検討を開始いたしました。少子化の影響かなと思いましたが、全国学生寮協議会に加盟する他の寮の新入寮生の数は昨年並です。今年都内の大学に入学した学生に直接聞いたところ、大学近くに、アパートを借りて住んでいる学生が多い事が分かりました。また国公立大や私大は、地方出身の学生のために学生寮を建設し

て、手頃な寮費で受け入れております。また民間企業も学生会館などを建設し、大学の委託を受けて学生寮の募集や運営に乗り出しています。学生会館は寮費や入館料も高いが、親の信頼を得て、女子学生には、人気があるようです。当寮も都内の大学に進学する学生から選択される時代に入りました。当寮にせっかく入寮しても、通学時間が掛る理由で、退寮する学生も出ています。退寮した学生の中には、在学中に司法試験に合格して弁護士になったり、早稲田理工学部の学生は東大の大学院に進学したりしています。

私は、当寮に昭和 41 年に入寮しました。相部屋でしたが、応募者が多数おりました。だめな場合は、大学の学生寮に入る予定でした。当寮 OB の佐藤毅さんから全国学生寮協議会に加盟して、他の寮を見学して今後の寮のあり方について研修するように勧められました。加盟する寮の大部分は、23 区内や交通の便がよい駅の近くにあります。いくつかの改築された寮を見学しましたが、部屋もバス・トイレ付きで共用の図書室なども充実していました。

来年度の寮生募集では、2 月末に、私大合格者と、国立大と併願している学生には、予約を認める面接を実施いたします。寮も 50 年以上経過しております。舎生会で、洗濯機が途中で止まってしまうので買い換えて欲しいと言われました。まだ買って 2 年ぐらしか経ってないものです。調べてみると、エラーメッセージで「蛇口が開いていますか」と出ていることがわかりました。それで蛇口と洗濯機を結ぶホースを外して、蛇口から水を流したところ、黄色の水がたくさん出ました。鉄管のサビが原因でした。その後は、エラーが出なくなりました。何かトラブルがあると寮生から修理して欲しいと言われます。館長として自分たちで解決する意気込みが欲しいと感じる今日この頃です。

短報 2 年前に東京興讓館寮の玄関ガラスが割られ、寮生から要望されていた**防犯カメラ**が今年 9 月に設置されました。玄関の屋内外の 2 か所に配置された新たな眼で、常時、寮生活の安心・安全を見守ります。

運営協力金 よろしくお願ひします

多くの会員各位から、運営協力金 **年 2 千円** は、東京・仙台の舎生支援金、OB 会通信 (年 2 回)、総会案内郵送費用・印刷費等に使用しています。今後ともよろしくお願ひいたします。

振込み先：郵便振込み口座 00110-6-725587
興讓館寄宿舍 OB 会

平成 30 年度運営協力金納入者芳名

ご協力をありがとうございます。(敬称略)

◆東京興讓館 OB◆ (昭 21)藤田士郎/(昭 28)近野栄/(昭 29)大武良治/(昭 30)菅原文雄/(昭 31)飯沼俊男・藤田智次郎/(昭 33)石原俊一・鈴木良平/(昭 34)勝見正弘・佐藤孝夫・羽隈弘宣/(昭 35)赤井淳一/(昭 36)井熊征一・後藤芳雄・佐藤毅・村山晃也/(昭 37)上村正和・小島邦浩・島貫祐輔・高瀬勝・樋口正宏/(昭 38)安部洋司・佐藤隆三・手塚修・中島正臣・平山和博・舟山国夫/(昭 39)伊藤秀靖・大滝則忠・加藤国雄・高橋丈夫/(昭 40)塚田昌伸・中條良文・村上晃一/(昭 41)山田幸生・渡部昭/(昭 41)加藤真琴・川合勝雄/(昭 42)菅野憲幸・寒河江幸平・庄司芳彦・高橋賢二・藤谷佑三・兵庫等・本多和彦/(昭 43)伊藤秀太郎・川越治・小島和雄・小林圭一・鈴木和美・武田篤・福崎進/(昭 44)佐藤憲一・佐藤俊治・戸田直博/(昭 45)鈴木信幸/(昭 46)鈴木浩美/(昭 47)小野庄士・仁科義英/(昭 48) 船山現人・真石博文/(昭 49)後藤仁/(昭 54)稲村修/(昭 59)小関敦/(昭 62)梅津正和/(平 1)小関治/(平 3)武田誠一郎/(平 7)眞島秀和/(平 13)酒井龍太/(平 17)小形剛弘

◆仙台興讓館 OB◆ (昭 25)下條泰生・中條仁/(昭 26)本田健夫/(昭 27)村上秀利/(昭 30)佐伯和重・本間達三/(昭 31)安部壮一郎・大関修敬・今野多助/(昭 33)安部英夫/(昭 36)大友康友・鈴木正明・高田和壽/(昭 37)甲國信・斎藤彰/(昭 38)平吹隆一/(昭 39)高山征一・松本耕輔/(昭 40)安部孝二・伊藤和夫・伊藤正一・片倉俊彦・島津博徳・滝口政彦/(昭 41)神尾仁/(昭 42)笹木邦明・我妻敏/(昭 44)南斉敏夫/(昭 45)青木隆生/(昭 46)遠藤嘉一・向田吉広/(昭 53)半田和彦/(昭 55)大浦雅宏/(昭 56)後藤利明・広瀬純/(昭 58)佐藤一彦/(昭 61)米龍太郎/(平 3)赤木修・大木聡/(平 7)菅野修一

◆札幌興讓館 OB・OG◆ (昭 28)山口尚/(昭 31)三原信義/(昭 34)沼武良/(昭 36)南部紀夫/(昭 39)須藤誠一/(昭 40)上野和子・孫田信一/(昭 41)岡田昌彦・船山隆寿/(昭 42)山水史生/(昭 48)遠藤一栄/(昭 50)川崎史郎

◆山形興讓館 OB◆ (昭 31)吉田信夫/(昭 34)高橋栄二

***** 原稿募集! *****

電話 03-3727-5990 幹事長 菅野憲幸(東 42)

E メール nkkanno53@gmail.com

この『通信』は、米沢有為会ホームページで閲覧できます

<http://www.yonezawa-yuukai.org/>

トップページ>「育英・文化事業」>「興讓館寄宿舍OB会」